

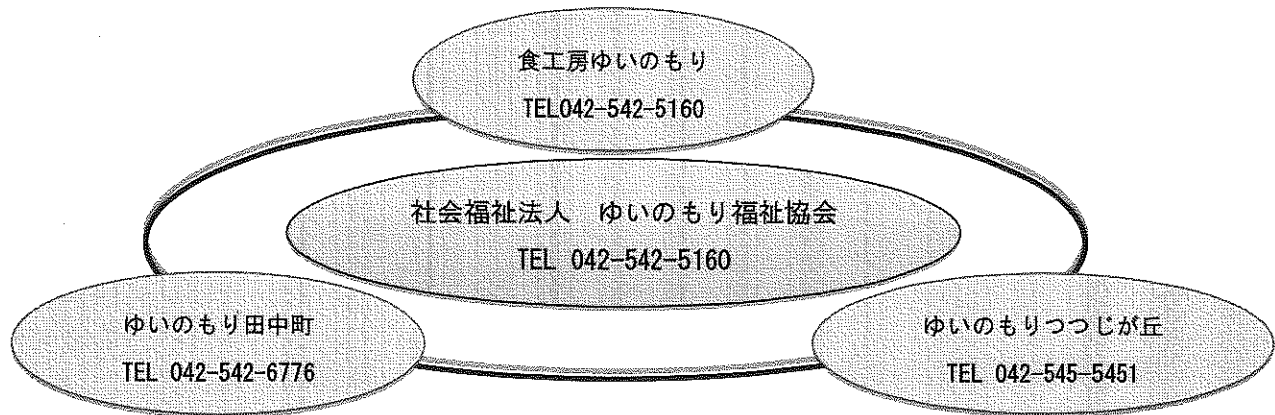
ゆいのもり通信



所在地：〒196-0011

東京都昭島市上川原町1-9-15

電話：042-542-5160



3事業所化とこれからの方向性

ゆいのもり福祉協会 理事長 川杉萬吉

日頃は「ゆいのもり福祉協会」の運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。「光陰矢の如し」という諺がありますが、2002年にゆいのもり福祉協会が法人化されてから10年が経過いたしました。この間、組織、財政などはほぼ順調に推移してきたものと思われま

す。今年度は次の10年への出発点であります。最近の政治、経済状況は少子・高齢化・核家族化が進み障害者にとって大変厳しくなっております。私たち、社会福祉に携わる関係者にとってはこれらを乗り越え地域福祉を充実していかなければなりません。

この4月1日より、2事業所を3事業所化し、各事業所の名称も新しくなりました。

今年度は、中長期計画を事業展開・人材育成・防災・運営・財政という柱で作成いたします。

事業展開においては、相談事業者等への聞き取りとゆいのもりでの経験をもとに、適切なサービス事業の量と種別を検討し、運営においては事務機能の強化が目標になります。

財政においては施設設備の更新と事業展開を支えるために必要な資金をつくる財政計画を作成します。

地域の皆様とのふれあいを深め、行政の協力をいただきながら、「安心して参加でき、小さな自信を積み重ね、勇気をふるって挑戦できる」そのような場を守り発展させてまいりたいと思います。

何卒、ゆいのもり福祉協会に一層のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

就労支援特集(4～5ページ)ご覧ください。

【就労輝く仲間たち・成長の軌跡】

就労移行支援は2年という短い期間での就職というイメージから、なかなか就労移行にチャレンジ出来ないという方もいらっしゃると思います。

「ゆいのもり」では一般就労を目指す方々に様々な就労へのアプローチを行っており、自分自身をスキルアップできたり、たくさんの刺激を得て自信にもつながっていきます。

今回のインタビューでは精神等の障害をもちつつトレーニング中の方、就職した方の素敵なお話しが載っています。ぜひご一読ください。少しでも多くの方に就労に興味をもっていただけましたら幸いです。

ゆいのもり・虹のセンター25 合同活動報告会
2012年10月27日(土) 午後2時～
昭島市市民ホール(昭島市役所内)ぜひご来場ください。

ゆいのもり通信NO. 19 *目次*

巻頭言「3事業所とこれからの方向性」	1
2011年度法人・各施設報告	2
職員紹介・ゆいのもりPRコーナー	3
特集 「就労」輝く仲間たち・成長の軌跡	4, 5
2011年度事業・収支状況報告	6, 7
「ゆいのもり」とともに歩む/寄付の報告	8

ゆいのもり福祉協会 法人本部



障害福祉サービス第三者評価受審

障害福祉サービスを利用しようとする方への情報提供と経営の見直し・改善のためのものです。調査書作成はとても大変でしたが、利用者と職員への調査もあり、正直な声にドキドキしたり、思わぬ所が評価されたりと楽しい経験になりました。

地域関係機関との連携

市内の関係機関と、昭島市障害者・児福祉ネットワークの中に「精神部会」を作っています。

グループホーム主催の大熊一夫氏の講演会開催への協力、精神病院からの社会資源見学ツアーの実施、グループモモ（日中活動の場につながらない方たちの集い）および「地域家族会」へのスタッフ派遣に恒常的に取り組んでいます。楽しいですよ。

ゆいのもり つつじが丘



作業スペースが広がりました！

室内作業をおこなっていた場所が狭くなってきたため、つつじが丘ハイツ6-114を新たに借りることになりました。作業が効率よくできるようになり、今後の作業にも期待できます。

就職者1名！！

昨年12月、就労支援センタークジラの支援をうけ、1名の方が就職しました。（この方は6月に有給休暇を利用し、当施設の初夏旅行に参加し、息抜きをされました。）

食工房ゆいのもり



2名の方が就職されました。

2011年度は就職者が2名出ました。他の就労移行のメンバーも就労プログラムや就職活動に励んでいます！

新規利用者さんをたくさん受け入れました！

新規利用の申し込みが多数あり、多くの新しい利用者さんを受け入れました！みんなでパンやカフェなど頑張っています。（2011年度は定員20名ですが、2012年度には40名になります。）

駐輪場が設置されました。

カフェ前に広い駐輪場ができました。カフェ内のミニコンサートなどにご来場の際も安心してご利用いただけます。

ゆいのもり 田中町



パソコン教室

第一期生が終了し、新たに初心者コースが始まりました。メンバーミーティング議事録を、第一期生メンバーが交代で入力し、毎月発行しています。

お弁当事業

ゆいのもりつつじが丘へ、当初週1回5食から配達を始めたお弁当ですが、2011年度より10食に増やしました。今後はレパートリーをもっと増やし、皆様によるこんでいただきたいです。

作って食べるレク 好評です

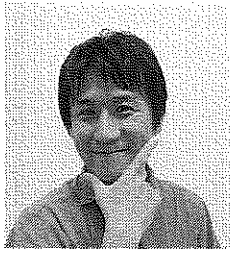
パティシエクラブでは、ガトーショコラ・アイスクリームなどなど、腕を上げました。また、食事会では冷やし中華・海鮮丼などをメンバーと作って、いただきました。

新入職員2名(2012年4月入職)の紹介&各事業所職員一覧

ながしまひでゆき

長島秀幸さん

ゆいのもりつつじが丘



4月より皆様に支えられながら、日々の仕事に励んでおります。まだまだ至らない点もあるとは思いますが、よろしくお願いたします。

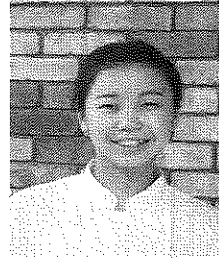
特技：車の運転

座右の銘：失敗は成功のもと

あらか

荒木こころさん

食工房ゆいのもり



毎日、パンの香りと、親切なメンバーさん、職員の皆さんに囲まれて楽しく働いております。これからもよろしくお願いたします。

趣味：クラシックバレエ、手芸

座右の銘：私は私

【2012年9月1日現在 職員配置状況】

ゆいのもりつつじが丘

■常勤職員■

吉田智子(施設長) 石井一輝 松田亜侑
横倉彩乃(4/1 田中町事業所より異動)
長島秀幸(4/1 新入)

●非常勤職員●

寺島廣司 小田智子 小谷野里美 嘉手納由貴
銭村辰夫 指田きみ子 小松滋 福田弘子

ゆいのもり田中町

■常勤職員■

奥田友子(施設長) 浅川勤(法人事務局長)
田中健(4/1 つつじが丘事業所より異動)
安藤聡美 猪股真幸

●非常勤職員●

小宮三紀子 西川美智子 皆川さおり

食工房ゆいのもり

■常勤職員■

嶋田敦子(施設長) 田中彰(主任) 黒木まゆ美
近藤貴代子(育児休業) 相川沙織 日向弘樹
荒木こころ(4/1 新入)

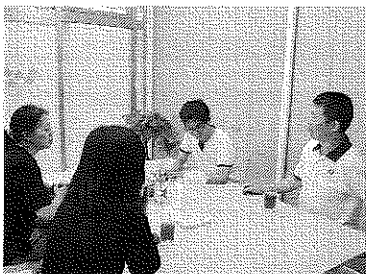
●非常勤職員●

芝田真理子 宮尾久仁子 高橋庸子 高橋たえ
片岡菊美 澤邊美津子 岡本綾野 佐々木章子
吉田浩子 西山雅秀

☆ゆいのもりPRコーナー☆

喫茶コーナー

団体さんのご利用を
お待ちしております。

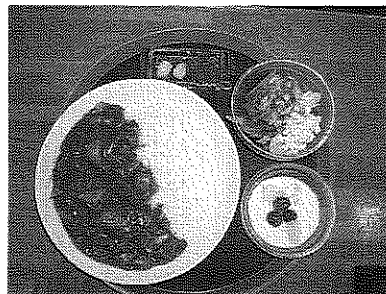


新しく借りたつつじが丘団地6号棟-114のスペースを、「手作りのお店 ゆいのもり」が開店している時間に、ご利用頂けます。詳しくは、お問い合わせください。

ゆいのもりつつじが丘

憩いのひとときを

ランチ・ケーキ・コーヒー
あります

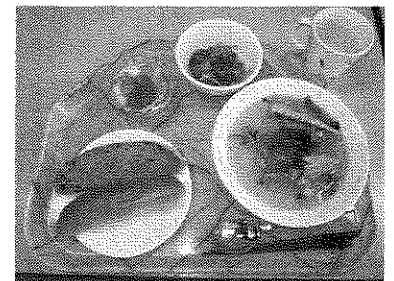


昭島市役所内喫茶森では、管理栄養士さんもスタッフに加わり、バランスのとれたランチを提供しています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

ゆいのもり田中町

おいしい給食

栄養満点の
給食メニュー



食工場の給食はパート職員さんの愛情がこもっていて、おいしいです！
栄養バランスを考え、旬の食材などをとりいれています。

食工房ゆいのもり



「就労」輝く仲間たち・成長の軌跡



「ゆいのもり」で就労移行が始まって3年目となりました。就職された方、就労移行でトレーニングを積んでいる方、就労継続B型に在籍しつつ就職に少しずつむかおうとチャレンジを始めている方、それぞれが思いをもちながら就職に向けて頑張っています。就職へのチャレンジャーと一緒に熱合していただきました。

（今までは自分の意見だけだったけれど）就労移行となり、いろんな意見を聞くことができるようになった
ゆいのもり 田中町/就労移行コース/Sさん

【就労移行になり、変わったことってありますか？】
現在の作業では、「喫茶での接客」や「厨房での調理補助」「伝票作り」の作業をしています。9:00～作業に入る事によって、早起き出来るようになりました。

【「ゆいのもり」に入りたての頃って、どうでしたか？】
同じ就労移行に、面白くて人を楽しませてくれるような兄貴的な存在の人がいてくれたのが大きかったですね。就労プログラムで緊張したときも、大変な作業と一緒にしていた時も、一緒にいると心が丸くなれるような感じがあって、安心感が持てたので。でも、今は兄貴的な存在の人が退所してしまって、心の中に隙間が空いてしまった感じです。

【就労プログラムに参加して良かったことってありますか？】
自分ひとりで考えないで、大勢の人と一緒に考えられるのが良いと思う。また、「あいぽっく」での就労プログラムで、大きな部屋でいろんな人の意見を聞きながら、自分の意見を言えるのは良いことだと思います。社会人になってから、大勢の人前で意見を言うことはなかったのですが、学生の頃以来のことですが、人前で話することができて良かったです。

障害者雇用の動き

障害者の法定雇用率が2013年4月から2.0%に引き上げられることや精神障害者の雇用義務化への動きが厚生労働省の有識者研究会から提出されてきています。



パン作りがしくてゆいのもりに入ったんですが、実際はパン作りの準備だったので残念です。でも、色々な具材を用意するのが楽しいので、満足度は60%くらいですね。

自分は最初、就労継続で入って、今はプレ移行で月に一度の就労プログラムにでています。プレ移行になる時は不安で、仕事も綿密にしなきゃと気持ちに変化が生まれました。でも就労プログラムでの講座は、毎回新鮮な気持ちでやれています。たとえば、病気との付き合い方では自分のことを考えるきっかけとなりましたね。自分の傾向がわかりました。就労プログラムは就職に向けて

就職に向けて進んでいくなかには「人とのつながり」があることが、ひとつ大きなものとしてあるように思います。一緒に就プロに参加する仲間、一足先に就職した先輩たち、必要に応じてアドバイスする職員、関係機関のスタッフなどなど。そのつながりは無限大にあると思います。



マイペースに就労継続B型コースでスタート、基礎力をつけ、自信をもって就労移行コースへ変更した
食工房ゆいのもり/Kさん

ゆいのもりに入る前はデイケアで、一人でPCばかりやっていました。そんなとき主治医からのすすめで、デイケアのプログラムに参加し始めて、友人もできました。就職希望だから就労移行で入りたかったんですが、食工房の職員から「慣れるまで時間がかかると思うし、就労移行は2年しかない。最初は継続からスタートしたら？」と提案され、「なるほど、確かに安心かなあ」と納得、3カ月で移行に移りましたが、不安も少なくてこうして良かったです。

食工房で成長していることは、仕事の感覚が戻ってきたことですね。学生時代で病気になる前は、言われたことをすぐにやることができたが、ブランクもあって今は難しい。年齢や病気もあるかもしれないけど、覚えるのが苦手になってきています。食工房に入った時は『言われたことをすぐやる』ことができず、その感覚0%から始めて少し不安でした。今は慣れてきたし、20%くらい勤が戻ってきたかなあと思うけど、60%まで引き上げたいです。

今の仕事は慣れてきて楽しいですが、工房の包丁を使う仕事は苦手です。でも克服したい気持ちがあります。自分はもともとポジティブだけど、仕事で嫌なことがあったり、病気になったりしてネガティブになることもありました。でもまた前向きに頑張ろうと思っています。

就労継続B型でがんばっています！
食工房ゆいのもり/就労継続B型コース/Oさん

色々勉強になっています。

食工房では「休まず遅刻せず通所する」を目標にしています。朝、起きられないことがあります。眠くてもお風呂に入って体を目覚めさせます。食工房に来ると食堂にみんながいて、「みんなが頑張っている、私一人じゃないんだ〜」と思えて働けます。食工房がなかったらそのまま寝ちゃうかもしれません。食工房に来ることで、生活リズムが整っている気がします。今後は前向きに頑張りたいですねえ。おほかでいること、落ち込まずに前向きにすることを大事にしたいです。今は落ち込んだりすることもあります。でも失敗は成功の元、開き直ってはだめだけど、落ち込みすぎないでいたいです。

「ゆいのもり」と「クジラ」を利用して
就職することができました
【ゆいのもりつつしが丘 就労継続B型コースMiさん】

「『就労支援センタークジラ』を通して委託訓練を実施してもらい、昨年の12月末から今の職場で働き始めました。入社当初は仕事が少なく物足りなさを感じましたが、8月頃より徐々に仕事が増え、今はやりがいを感じています。同じ時期に障がい者雇用で入社した同僚がいて、二人で同じ現場に勤務しています。」

「『ゆいのもり』通所中は、保健センターの清掃作業が好きで、とてもやりがいがありました。安定した気持ちで楽しく作業に取り組むことができ、気になっていた自分の吃音も少しずつ受け入れられるようになりました。他にも、ピップでの作業や花壇作業に参加させてもらったことで、環境が変わっても働く力や忍耐力が付き、それが今の職場に活かされているように感じます。今の職場にも清掃作業があるようなので、もしチャンスがあれば清掃の経験を活かしたいです。吃音があっても就職することができて、本当に感謝しています。」

『ゆいのもり』に通った1年半の経験が、今のMiさんの力になっていると感じました。そして障害者就労支援センタークジラの支援で確実に実を結び、みごと就職されました。おめでとうございます！（職員 記）

働く幸せ感じています

【食工房ゆいのもり 就労移行コースMさん】

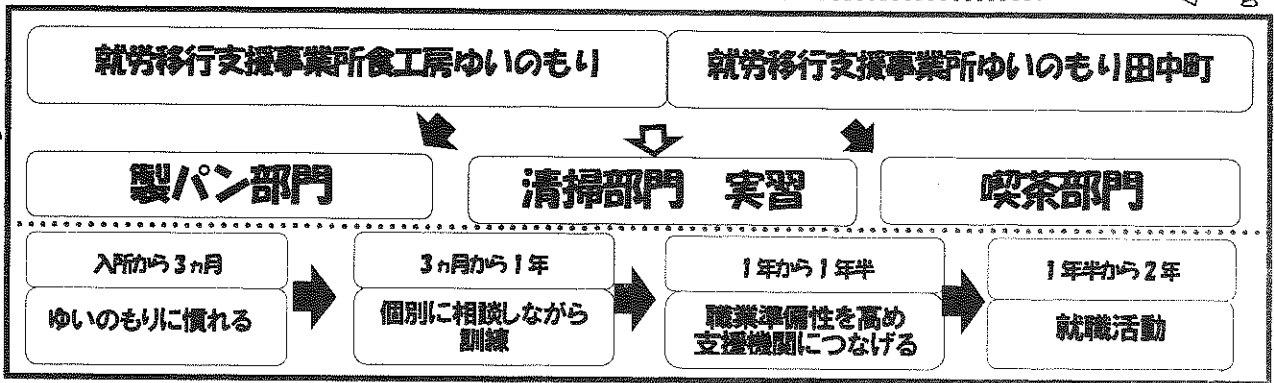
今年の2月から、多摩地域の人材サービス業の会社で、総務部事務の仕事にパート社員として就職しました。現在は、新人として扱われることも少なくなり、一生懸命仕事に打ち込んでいます。この会社は精神の障害者雇用は私が初めてなので、病気の症状や病的な疲れを出さないように1時間ごとに休憩を取らせてくださり、私が心配だった電話対応の業務をさせないといった配慮もしてもらいました。また、ジョブコーチを利用して、スムーズに職場定着ができました。会社は私を終身雇用で雇っていきたい、という考えなので、その期待に応えたいと思っています。

現在は、総務部の特性である「縁の下の力持ち」として、事務補助や雑務を上司や先輩と積極的かつ自主性をもって（また、失敗もしつつ）最高に楽しみながら働いています。具体的には仕事を任されて自分の裁量で仕事を完成させることが面白いです。自分が考える企業に入る前に最も大事な点は「仕事への準備と病気の安定」です。そしてこれは「ゆいのもり」ですこしずつ高められます。この2点をクリアできれば企業でもしっかりと働いていけると思います。思い切って企業に飛び込んでみてください。健常者も障害者も関係のない素晴らしい出会いと充実感が待っていますよ。

インタビューを終えて：インタビューしたメンバーの言葉の中にもありましたが、「ひとりではない」と思えるというのは、就職というおそらく誰もが不安と感じるものに対して立ち向かうときに、大きなささえとなっていけるのではないのでしょうか？ 就職に向かうメンバーたちのこれからの、幸多かれ！！



就労支援の流れ



「就職」に向かって頑張っている
「ゆいのもり」メンバー



ゆいのもりでは就労移行と就労継続B型事業を運営していて、メンバーさんは自分の目標に向け頑張っています。今回は「就職」という目標をもっているみなさんから話を聞きました。就労移行の方は2年という期間で、就労プログラムで勉強したり、担当職員と個別に就職活動などに励んだりしています。しかし、今回は就労移行だけでなくその準備段階として就労継続B型で頑張っているOさんや

就労継続B型から就職したMiさんの話も聞きました。頑張ろうと思えば就労移行・就労継続B型関係なく、そこからスタートすることができるんです。そしてなにより、「苦手なことを克服したいKさん」「人の話が聞けるようになったSさん」など就職を目標に、どんどん変わってきているのを感じます。就職しても「最高に楽しい(Mさん)」「もっと頑張りたい(Miさん)」など、就職活動中だけでなく、働きはじめてからもメンバーさんの生活が豊かになっていくよう応援したいです。お話ししてくださった皆さん、ありがとうございました。（職員 記）

- ★「就労プログラム」とは：ゆいのもり就労移行の方全員が月に一度集まり、就職に必要な知識・スキルを学んでいます。
- ★「プレ移行」とは：就労継続B型で就労を目指す方のことです。一部の就労プログラムに参加することができます。

2011年度 事業報告一覧

【ゆいのもり福祉協会（法人本部）】

法人重点目標：理念「我々は何を実現しようとしているのか」／今後、5年後10年後の中長期計画を考える。働く・学ぶ・余暇活動・食事提供・交流の場・相談機能・地域活動支援センターの可能性・相談支援事業所の資格取得という各視点から全職員の参画をもとに検討を行う。

法人本部報告：・会計業務の確立 固定資産除去処分の未処理をすべて清算した。/新会計基準導入準備
・積立資金の実施 事業継続のための運転資金と設備等更新費用のための積み立てを行った。

法人の事業計画と報告：●サービス向上→作業量拡大/工賃アップ/就労支援力向上に取り組んだ。障害福祉サービス第3者評価を全事業所で受審した。活動を振り返り、次年度の理念・中長期計画作成につながった。「ゆいのもりつつじが丘」を3つ目の事業所として開設準備をすすめた。・地域活動支援センター開設に向けての検討はできなかった。●人材育成→各層ごとに東社協の職員研修を受講。サービス管理責任者研修2名終了。●地域とのネットワーク：昭島市障害者(児)福祉ネットワークと精神部会に参加した。フォーラム、退院促進、ボランティア研修への支援等に取り組んだ。

【サードゆいのもり社、田中町事業所、つつじが丘事業所】

活動内容	作業活動	昭島市保健福祉センター清掃、定期清掃（ワックス）、花壇管理、企業内作業、室内作業、牛乳パック回収、手作りのお店（つつじが丘店）の営業、喫茶森（昭島市役所内）の営業、お弁当製造（田中町）			
	食事作り	火・木にメンバーと職員でつくる、1食250円。カレーライス、けんちんうどんなど。1回20食程度。			
	ミーティング	保健福祉センター清掃について（つつじが丘事業所にて月1回）行事について（つつじが丘事業所にて1カ月に1回）、サードミーティング（田中町事業所にて月1回第1水曜午後）			
	行事	外食、日帰りのおでかけ、一泊旅行、スポーツ等	きこり会	メンバーの自主活動による話し合い（月1回）	
事業計画	1. 作業量を増やすための工夫や室内作業の開拓を行う。2. 24年度2事業所分化に向けて通所者数を確保し、業務分担や引継ぎを行っていく。3. 新入職員を迎え、役割分担をしながら職場に慣れてもらう。また、研修への参加を推進する。				
事業報告	1. つつじが丘では、新たにつつじが丘ハイツの6-114を借りて、作業しやすい環境整備をおこなった。田中町では、管理栄養士の方にランチメニューや弁当についての専門的なアドバイスを受けるようにした。2. 請求事務や会計等の業務分担や引継ぎを行い、2事業所化にむけての準備をすすめた。3. 新入職員も含めて業務分担をおこない、利用者支援や事務作業を円滑に行う事ができた。また希望の研修に参加できるように配慮した。4. 障害福祉サービス第3者評価を受けた。				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労移行	8人	10人	1135人	247日	4人
就労継続	32人	72人	9145人	247日	37人
工賃状況	授産総売り上げ		工賃総額（A）	工賃支払者延べ人数（B）	平均月額工賃A/B
	21,781,586円		5,647,174円	903人	6,253円

【第二房ゆいのもり】

活動内容	作業活動	パンカフェ作業、企業内作業、館内清掃、事務業務、案内業務			
	必修	利用者ミーティング（月1回）、防災訓練、食品衛生および感染症の講座、等			
	社会性向上	就労準備性/生活スキル向上、パソコン教室、等	健康増進	健康フォーラム、スポーツ、外出、一泊旅行、餅つき、等	
事業計画	1. 新規利用者の受け入れや就労希望者（OB含）への支援の充実 パンカフェ売上向上 2. 運営基盤に合う事業の実施と職員配置・施設整備 3. 研修計画に基づいた研修の実施。				
事業報告	1. 新規利用者は8名を受け入れた。就労移行支援では、定期的に職員情報共有のカンファレンスを実施した。パンカフェの売上に 関して現在、カップケーキ等の商品開発を施行中である。2. 職員の業務や配置変更を行い、円滑化を図った。いくつかの修繕の実 施や一部業務を業者に委託した。3. 研修計画に基づき、積極的に各種研修を受講した。4. 障害福祉サービス第3者評価を受けた。				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労移行	7人	11人	2010人	251日	8人
就労継続	13人	25人	3935人	251日	15人
工賃状況	授産総売り上げ		工賃総額（A）	工賃支払者延べ人数（B）	平均月額工賃A/B
	11,360,895円		2,760,510円	445人	6,231円

2012年度 収支状況報告一覧

ゆいのもり福祉協会貸借対照表 (平成24年3月31日)

資産の部			負債の部		
科目	当年度末		科目	当年度末	
流動資産	70,614,718		流動負債	7,222,796	
現金預金	49,449,809		未払金	4,872,640	
未収金	20,145,527		預り金	2,281,516	
立替金	81,900		仮受金	68,640	
原材料	937,482		固定負債	5,200,000	
固定資産	222,002,224		設備資金借入金	5,200,000	
基本財産	185,061,317		負債の部合計	12,422,796	
その他の固定資産	36,940,907		純資産の部		
			基本金	45,813,046	
			国庫補助等特別積立金	123,051,067	
			その他の積立金	5,800,000	
			次期活動収支差額	105,530,033	
			純資産の部合計	280,194,146	
資産の部合計	292,616,942		負債および純資産の部合計	292,616,942	

ゆいのもり福祉協会 資金収支状況一覧表 (平成24年3月31日)

勘定科目		予算	決算	差異	
就労支援事業活動 による収支	収入	就労支援事業収入	32,268,200	33,142,481	△874,281
		就労支援事業収入計(1)	32,268,200	33,142,481	△874,281
	支出	就労支援事業支出	31,969,200	31,344,445	624,755
		就労支援事業支出計(2)	31,969,200	31,344,445	624,755
	就労支援事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		299,000	1,798,036	△1,499,036
福祉事業活動による収支	収入	自立支援費収入	106,055,000	109,175,737	△3,120,737
		利用料収入	304,000	506,980	△202,980
		その他の事業収入	2,940,000	3,286,878	△346,878
		経常経費補助金収入	16,850,000	16,861,000	△11,000
		寄付金収入	814,000	824,000	△10,000
		雑収入	402,000	544,264	△142,264
		借入金利息補助金収入	68,000	68,640	△640
		経理区分間繰入金収入	320,000	320,000	0
	福祉事業収入計(4)		127,753,000	131,587,499	△3,834,499
	支出	人件費支出	84,437,000	82,014,943	2,422,057
		事務費支出	24,811,000	20,129,009	4,681,991
		事業費支出	9,962,000	9,038,582	923,418
		借入金利息支出	70,000	68,640	1,360
		経理区分間繰入金支出	320,000	320,000	0
		福祉事業支出計(5)		119,600,000	111,571,174
福祉事業活動資金収支差額(6) = (4) - (5)		8,153,000	20,016,325	△11,863,325	
施設整備等による 収支	収入	施設整備等寄付金収入	600,000	600,000	0
		施設整備等収入計(7)	600,000	600,000	0
	支出	固定資産取得支出	8,590,000	11,029,905	△2,439,905
		施設整備等支出計(8)	8,590,000	11,029,905	2,439,905
施設整備等資金収支差額(9) = (7) - (8)		△7,990,000	△10,429,905	2,439,905	
財務活動による収支	収入	積立預金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0
		財務収入計(10)	1,000,000	1,000,000	0
	支出	借入金元金償還支出	1,040,000	1,040,000	0
		積立預金積立支出	2,600,000	2,600,000	0
		財務支出計(11)	3,640,000	3,640,000	0
財務活動資金収支差額(12) = (10) - (11)		△2,640,000	△2,640,000		
予備費		922,000		922,000	
当期資金収支差額合計(14) = (3) + (6) + (9) + (12) - (13)		△3,100,000	8,744,456	△11,844,456	
期末支払資金残高(15)			53,709,984	△53,709,984	
当期末支払い資金残高		△3,100,000	62,454,440	△65,554,440	

ゆいのもりへの期待

グループホーム太陽と風 世話人/ゆいのもり福祉協会理事

酒井幸子

「昭島に精神障害者の作業所を作りたい」という人と会って、昭島公民館の主事に声掛けられたのは未だ昭和の頃でした。今も、公民館3階の和室でお話したことが懐かしいです。お話をした割には傍観者でしたが、「ゆいのもり」という苗木は昭島に植えられ、しっかりと根をはりました。

その間、苦勞がいっぱいあったことでしょうか、職員や支えてくれた地域の人達の熱意、そして何よりメンバーの想いが協働し育んできました。

私はといえば、出会いがきっかけで平成8年にグループホーム世話人となりました。それからは、「ゆいのもり」で日中活動、グループホームで生活、このタッグで精神障害者の希望と挑戦を応援することができました。

「ゆいのもり」は常に安住することを良しとせずやって来ました。今後も、障害者、いや誰でもが安心して暮らせる社会の実現にむけてリーダー的存在として皆をひっぱって欲しいと心から期待しています。

▼賛助会からのご寄付：

平成23年度「ゆいのもり賛助会」から以下のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

・施設整備借入金返済のために600,000円

▼「ゆいのもり福祉協会」へのご寄付：

東京都共同募金会より270,000円

個人寄付 410,000円

ありがとうございました。



ゆいのもり田中町

利用者募集中！

就労移行・就労継続とも

問合せ先：042-542-6776



「作る会」発足と「ゆいのもり」開所の頃

元ゆいのもり運営委員会運営委員

田中幹子

今から24年前、1988年7月9日に公民館で「精神障害とは一共に地域で生きるために」の講演会が開かれた。講師は池末美穂子さん。「昭島に共同作業所を作る会」の発会式も兼ね、ここで浅川さんの活動に共鳴し、ささやかなお手伝いを始めることになった。

資金集めのために初めてのバザーを11月末に東中神団地の広場で開いた。まだお客さんも手伝う人も少なく北風に震えたが、みんな若さと希望に溢れていたのを思い出す。

翌年の9月9日には、「ゆいのもり社」の開所式を迎え、大熊一夫氏の記念講演「疎外なき社会を！ハンディーをもった人も普通に暮らすには一世界と日本の現実」を公民館で開く事ができた。その後7年間、毎月の運営委員会に参加し「ゆいのもり」の基礎作りから充実・発展のために話し合いを重ね、いっしょに楽しく活動させていただいた。その経験は私の現在の活動にも生かされ財産になっていると思う。

今後も「ゆいのもり」を見守り応援していきたい。

【ゆいのもり福祉協会 理事・評議員・監事 一覧】

(2012年9月1日現在)

川杉萬吉(理事長) 上田桂子 酒井幸子 吉村謙 池田正

吉田智子 浅川勤 (以上、理事兼評議員7名)

武田勝之 佐々木陽子 吉川訓子 小林和行 笈川信之 奥田友子

嶋田敦子 河内泰彦 東條由美子 高橋由美 祝和子

(以上、評議員11名)

野村三郎(監事) 須藤正勝(監事)



編集後記

ゆいのもりカラーの通信をお届けです。(m) ご協力いただいた皆様ありがとうございました。(プロートハイム)

今年も特集で素敵なお話を聞くことができ、皆様に感謝！(黒パン屋) おかけさまで通信も来年で20才。早いものですね(T)

思いの詰まった一冊できました(ひまわり娘) ちいさい秋み~つけた☆(東京のくいたん)